

平成17年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成17年4月22日		記入者	内線	3815
部 名	消防本部	課 名	消防総務課	課長名	門倉豊
事務事業名	消防団員貸与被服購入事業				
予算上の事務事業名	消防団員貸与被服購入費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		23130		
基本目標	「ゆとりある みどり豊かな環境共生都市」をめざして				
政 策 名	第3章 安全に暮らせる都市の実現をめざします				
基本施策名	第1節 災害に強いまちづくり				事業開始年度
施 策 名	第3施策 消防力の強化				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	消防組織法第15条第1項及び相模原市消防団員の服制等に関する規則				
3 個別計画の概要	概要				
計画名					
計画年次	年度～	年度			
4 事業形態の区分	内部管理 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
消防団活動に必要な貸与被服及び毀損交換用被服の充実を図る。				消防団員	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
新入消防団員72名(平成16年度途中入団者20名、平成17年4月1日入団者52名)の入団時に被服(冬・夏作業服、アポロキャップ、ベルト、編上靴等)の貸与を行った。 毀損分として75名に被服の貸与を行った。					
6 関連・類似事業や他市の状況	事業の実施方法や消防団員の被服の位置付けは、他都市においても同様である。 平成13年に消防団員服制基準が定められた。本市での導入は実施していないが、他都市ではこの基準に合った被服を導入し始めている。				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事 業 費	10,402	6,500	6,350	6,350	6,350
一般財源	10,402	4,269	4,150	3,350	6,350
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	2,231	2,200	3,000	0
人件費の合計	2,408	2,460	2,478	2,478	2,478
事業コスト合計(a)	12,810	8,960	8,828	8,828	8,828
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	消防団員貸与被服購入事業			対象名称 (単位)	3月末時点の消防団員 実数(人)
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	12,810	8,960	8,828	8,828	8,828
対象数	735	721	705	724	740
単位あたり経費(円)	17,429	12,427	12,522	12,193	11,930
前年度比		0.71	1.01	0.97	0.98

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	貸与被服の要求件数		指標式と指標の説明	新入団員及び毀損による貸与被服の要求件数（目標）と対応件数（実績）	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	722.0	188.0	147.0		
目標	735.0	191.0	151.0	160.0	160.0
目標達成度	0.98	0.98	0.97		
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	毀損被服の件数		指標式と指標の説明	毀損被服の件数と対応できた件数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度（目標）
実績	322.0	114.0	75.0		
目標	335.0	117.0	79.0	80.0	80.0
目標達成度	96.1	97.4	94.9		
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
B	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		消防団の活動が災害防衛だけでなく市民への予防啓発活動や防災訓練指導等平常時での活動を充実させ、市民の安全を常備消防と共に守るための活動に必要な被服等の充実を図ることが必要である。また、平成13年に消防庁で定められた消防団員服制基準に合った被服の導入を検討する必要がある。	
	<input type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと		
現在、退職団員の被服をストックし、毀損被服ができた場合はできるかぎりこれらで対応を行うこととしているが、サイズ不明なものも多く毀損被服として使用できないものもある。毀損件数を少なくするために、退職団員の被服を団員に提供する機会を設ける必要がある。			現在、制服等は前団員の物を引継いで着用、盛夏服は貸与凍結を行っているが、報酬が少ない消防団員の士気向上及び団員の確保のためには、ある程度新品の被服を貸与する必要がある。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		計画的な被服貸与に努める。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			